

## 第47回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

### 1. 開催日時・出席者等

- 日時： 令和元年5月30日(木)10:30～11:30
- 場所： 中央合同庁舎 8号館 10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：「守りと攻めのデジタル化」
- 招へい者： 小松原 威(こまつばら たけし)株式会社WiLパートナー
- 出席者： 平井国務大臣、幸田内閣府審議官、三輪政府CIO、神成政府副CIO、  
三角審議官(IT)、柴崎参事官、奥田参事官、高田企画官、仁科参事官(知財)  
池田企画官(科技)、立松補佐(宇宙)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

### 2. 小松原氏からの説明

- ベンチャーキャピタルである(株)WiLは、新規事業の立ち上げ及び投資にとどまらず、これらを通じた大企業でのオープンイノベーションを促進することをミッションとしている。これにより、日米や大企業・ベンチャーの接点となる出島(WiL)となり、収益、情報、人材の循環及び活用に貢献している。
- これからは全ての産業においてデジタル化が喫緊の課題となる。このデジタル化には、守りのデジタル化である digitization(ITを活用した業務効率化及び利便性向上)と、攻めのデジタル化である digitalization(顧客体験を劇的に変化させるビジネスモデル改革)の2つがある。今後は、digitization は所与のものとなり、サービスデザイン思考を活用した digitalization によって人々の生活を変えていくことを考えていかなければならない。

### 3. 質疑応答・議論

- 行政においても、最近引越に関連するサービスのワンストップ化について検討が行われており、そこではサービスデザインの考え方を踏まえたワークショップ形式による取組が進んでいることから、こうした経験をさらに他に広げていくべきではないか、との意見があった。
- 昨今は企業のガバナンスが改善している結果、新規事業に踏み出すためにも経営会議等の一定の手続きを踏まえる必要があり、これがかえってイノベーションを阻害する要因にもなり得ることから、大企業にあっては新規事業に投資する枠を別途設けることが有効なのではないか、との意見があった。
- デザイン思考に基づきサービス設計を進めるためには、技術の視点から考えるのではなく、状況を取り巻く全ての人の視点から考え、本当に解くべき問題は何なのかを徹底的に検証することが重要であるとの意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)